

## 本のまちビジョン策定に向けた取組について

## 1 策定の目的

本市では、「いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまち」を目指して、「本のまちづくり」を推進しています。

これまで、あかし市民図書館、西部図書館をはじめ、移動図書館やまちなかブックスポットなど、市民が手を伸ばせば本に手が届く環境の充実を図ってきたところであり、今後も二見地区や他の地区への図書館整備を進めるなど、「本のまちづくり」の推進に向けた取組を更に推進してまいります。

このような取組をより効果的なものにするためには、ハード面だけではなく、運営方法の改善や各施設の連携強化といった、ソフト面の充実もあわせて図っていく必要があります。

そのためには、まず、それぞれの場所がどのような役割を果たしどのようなネットワークを構築していくのかなど、今後の「本のまち明石」のあり方や方向性を明確にする必要があることから、その指針となるビジョン策定に向けた検討を開始します。

## 2 検討内容

今後の「本のまち明石」のあり方を明確にするため、主に以下の点について検討を行います。

- 「本のまちづくり」の目指す方向性・コンセプト
- 図書館など本に触れることができる場所のそれぞれの位置づけと方向性
- 各場所の運営のあり方（市民参加・人材確保など）
- 各場所の連携方法 など

## 3 検討組織の概要

図書館運営経験者などの専門家、学識者、本に関わりの深い市民、若者代表など7名程度の委員構成を予定しています。

## 4 検討スケジュール案

令和6年7月下旬	第1回検討委員会を開催（現状と課題）
9月上旬	ワークショップを開催
10月下旬	第2回検討委員会を開催（素案について）
12月	総務常任委員会でビジョン素案を報告
令和7年1～2月	パブリックコメントを実施
2月下旬	第3回検討委員会を開催（案について）
3月	総務常任委員会でビジョン案を報告